

## 防災行政無線更新事業完了について

## 1. 事業概要

## (1) 事業目的

国の無線整備規則の改正に伴い、規則に適合した無線のデジタル化に対応できるよう、機器を更新する。併せて既存の 280MHz 防災ラジオシステムとの連携を図る。

## (2) 事業目標

防災ラジオとの連携を図り、災害時にワンオペレーションで情報が伝達できるシステムを構築する。

## (3) 工期

平成 31 年 3 月 27 日～令和 2 年 12 月 11 日

## (4) 事業費総額 365,302 千円

## 2. 機器の概要

- ・送信局 1 局 (庁舎 3 階無線室)
- ・操作卓 1 基 (庁舎 3 階無線室)
- ・中継局 1 局 (恵那市山岡町田代山地内)
- ・屋外拡声子局 98 局 (市内各地、内 1 局 再送信子局 (釜戸小学校敷地内))
- ・遠隔制御装置 消防本部、陶分署
- ・地区情報収集装置 各コミュニティーセンター (5 台)

## 3. 事業効果

屋外拡声子局を高性能のスピーカーに交換し、音達範囲等を維持しながら子局数を 109 本から 98 本に削減。

田代山中継局へ発電機が設置され、停電時、連続 72 時間稼働が可能。

防災ラジオ、「絆」メールなどと連携し、ワンオペレーションで情報伝達できるシステムとなりより迅速な情報発信が可能。

## 4. 課題と対応

更新の結果、場所により、放送が聞き取りにくくなった、音が大き過ぎるなどの市民からの通報があった。

スピーカーの方向や音量の調節などで対応。



屋外拡声子局